

新フェロー紹介 (2022年)

フェローは、オペレーションズ・リサーチの研究と発展に多大なる貢献をなされた方に、その功績を称えて贈られる称号です。新フェロー4名の方が理事会で以下のとおり選ばれ、2022年3月17日の春季研究発表会（オンライン）にて表彰されました。

岡本 吉央 (おかもと よしお) 氏



【学歴】

1999年 東京大学教養学部基礎科学科第二卒業
2001年 東京大学大学院総合文化研究科修士課程修了
2005年 Ph.D. スイス連邦工科大学チューリヒ校

【職歴】

2005年 豊橋技術科学大学工学部 助手
2007年 同 助教

2007年 東京工業大学大学院情報理工学研究科 特任准教授
2010年 北陸先端科学技術大学院大学大学院教育イニシアティブセンター 特任准教授
2012年 電気通信大学大学院情報理工学研究科 准教授
2017年 同 教授

【OR学会関連】

2012年 研究賞奨励賞受賞
2015年～2018年 研究部会「最適化の基盤とフロンティア」主査
2016年～2022年 JORSJ 編集委員
2020年 研究賞受賞

岡本氏は、数え上げ組合せ論、離散幾何学、グラフ理論、計算量理論などを数理的基盤とし、これらに関する理論的研究および、これらの離散アルゴリズムや離散最適化への応用に関して新しい成果を次々に示してきた。さらには協力ゲームに関する研究など、広範なテーマを対象として活発な研究を行い、オペレーションズ・リサーチの理論と応用の発展に多大な貢献をしてきた。以上の研究成果により2020年に研究賞を受賞している。

また、研究部会の主査、JORSJ編集委員を務め、学会の研究発展のための運営においても大きく貢献した。

河東 晴子 (かわひがし はるこ) 氏



【学歴】

昭和60年 東京大学工学部電気工学科卒業
平成13年 博士(工学)東京大学

【職歴】

昭和60年 三菱電機(株)情報電子研究所 入社
平成3年～平成4年 カリフォルニア大学パークレー校客員研究員
平成14年 三菱電機(株)情報技術総合研究所 主席技師長

平成25年 三菱電機(株)情報技術総合研究所 主管技師長
令和3年 三菱電機(株)情報技術総合研究所 技術統轄
平成25年～現在 神奈川工科大学情報学部 非常勤講師

【OR学会関連】

平成31年～令和3年 副会長
平成31年～令和3年 研究普及委員長

河東氏は三菱電機の研究所において高速通信装置、通信トラヒック・経路設計、ニューラルネットワーク、アドホックネットワークなどの研究開発を行い、トラヒック制御、最適経路設計、グラフ理論などのOR手法を適用してきた。IFORS, APORS, IEEEほか多数の国内外学会発表、解説記事執筆、OR辞典2000執筆、約50個の日米欧特許取得などにより、ORの活用と普及に貢献してきた。2019年から本学会副会長に就任し、法令遵守の取組み、2020年春季研究発表会の新型コロナウイルス感染症の急拡大への対応、研究普及委員会・学会の運営改善など、学会運営にも大きく貢献した。

奥田 隆史（おくだ たかし）氏



【学歴】

昭和60年 豊橋技術科学大学工学部情報工学課程卒業
昭和62年 豊橋技術科学大学大学院工学研究科修士課程修了
平成4年 博士（工学）豊橋技術科学大学

【職歴】

昭和62年～昭和63年 (株)セイノー情報サービス入社
昭和63年～平成4年 豊橋技術科学大学工学部情報工学系 教務職員

平成4年～平成5年 豊橋技術科学大学工学部情報工学系 助手
平成5年～平成9年 朝日大学経営学部情報管理学科 講師
平成6年～平成7年 ウィーバー州立大学（ユタ州）客員准教授
平成9年～平成10年 朝日大学経営学部情報管理学科 助教授
平成10年～平成19年 愛知県立大学情報科学部 助教授
平成14年～平成15年 デューク大学（ノースカロライナ州）客員研究員
平成19年～平成20年 愛知県立大学情報科学部 准教授
平成20年～現在 愛知県立大学情報科学部 教授
令和3年～現在 愛知県立大学地域連携センター センター長

【OR学会関連】

平成20年～平成23年 中部支部幹事
平成23年～平成24年 中部支部運営委員
平成24年～平成26年 研究普及委員
平成24年 秋季研究発表会実行委員
平成26年～平成28年 中部支部副支部長
平成28年～平成30年 中部支部支部長
平成30年 秋季研究発表会実行委員
平成30年～令和4年 中部支部監事
令和3年～現在 支部理事（現在に至る）

奥田氏は待ち行列理論、整数計画法、マルチエージェントシミュレーション、確率モデルなどオペレーションズ・リサーチの手法を用いて情報化社会におけるさまざまな問題解決を行っている。これらの成果は、本学会の研究部会や支部講演会でも招待講演として報告されている。

学会の運営面では、中部支部を拠点に活動してきた。研究普及委員、支部幹事、支部運営委員や支部長・監事などを務め、中部支部長在任中にC3POセミナーという支部活動の活性化の仕組みを整えた。以上のように、研

究のみならず、ORの普及、教育、運營業務に多くの貢献をした。

金子 美博 (かねこ よしひろ) 氏



【学歴】

昭和 63年 早稲田大学理工学部電子通信学科卒業
平成 5年 早稲田大学大学院博士後期課程修了 博士(工学)

【職歴】

平成 4年～平成 6年 早稲田大学理工学部電子通信学科 助手
平成 6年～平成 7年 岐阜大学工学部電子情報工学科 専任講師
平成 7年～平成 19年 岐阜大学工学部応用情報学科 助教授

平成 19年～平成 25年 岐阜大学工学部応用情報学科 准教授

平成 25年～現在 岐阜大学工学部電気電子・情報工学科 准教授

この間、フロリダアトランティック大学客員研究員、信州大学内地研究員など

【OR学会関連】

平成 8年～平成 9年 中部支部研究会幹事

平成 14年～平成 19年 中部支部運営委員

平成 20年～平成 21年 中部支部副支部長

平成 22年～平成 23年 中部支部長

平成 24年～平成 27年 中部支部監事

平成 30年～現在 中部支部SSOR代表

令和 4年～現在 中部支部幹事

この間、研究発表会実行委員、研究普及委員など

金子氏は、グラフ・ネットワーク理論の通信分野への応用研究に従事してきた。最近では、無線センサネットワークのルーティングに対して、基盤的価値を見直す研究に取り組んでいる。これらの成果は、主として電子情報通信学会の論文で掲載されているものの、本学会の研究部会や支部講演会でも招待講演として報告されている。

学会の運営面では、中部支部を拠点に活動してきた。支部研究幹事、支部運営委員や支部長・監事のほかに、若手向けセミナー SSOR中部支部代表も務めてきた。また、教員向けの免許講習や高校生向けの出前講義を通して、ORの名前を草の根的に世に宣伝してきた。以上のように、研究のみならず、ORの普及、教育、運營業務に多くの貢献をした。